個人開発者のための aws-serverless-express

HANATANI Takuma(@potato4d) 2018.03.23 #kyotojs

ア

- 自己紹介
- 個人開発におけるインフラ負担の辛さ
- PaaSによる解決
- aws-serverless-expressの良さ
- 個人開発者にとってのNode.jsのインフラのつらさ
- aws-serverless-expressのはじめかた

自己紹介



めぐみん

声 - 内田真礼 / 高橋李依 紅魔族の少女。13歳→14歳 (WEB版では17歳前後)。スピンオフ「この素晴らしい 世界に爆焔を!」の主人公。 黒髪に紅い目。黒マント に黒ローブ、トンガリ帽子を被り、左目に眼帯(別に目 が悪いわけではなく、ただのファッション)をつけてい る。カズマとアクアの出したパーティーメンバー募集の 張り紙を見て仲間に加わる。体格は小柄で細身、身長は



@potato4d

- 東京でフリーランスやってる
- だいたいフロントエンド
 - 最近は殆どNuxtの開発とかフロント技術相談
- Vue.js JP / VueFes Staff / Vue.js translator
- この間久々にNode.jsを生で書いたらdeep copyのためにobject-rest-spreadを使ってCIを落とした人

本題

いきなりですが皆さん!

個人開発してますか?

WebApp開発してますか?

個人開発の「インフラ」つらくないですか?

「メンテナンス」に 新しいことをやる時間を 奪われていませんか?

本質的でない作業で モチベを下げていませんか?

例えば「こんなこと」 起こってないですか?

個人開発のインフラメンテのつらみ

- laaSを借りているとセキュリティアップデートなどに 確実に追われてどこかで対応するハメになる
- オートスケールの構成にしないと負荷に対処できないけど、個人でオートスケールはお財布がつらい
- 何故かDockerが壊れて対応で趣味開発の時間が溶ける
- この苦しみがWebAppの数だけ増えていく

ありがち

作れば作るほど新しいものを 作る時間が減っていく

メンテしたくない

どうにかして解決したい

今日はこれを解決しよう

よくある解決法

PaaSを使う



Heroku使いがち

- 言語を特に問わずに使えるので便利
- ・基本無料だし有料で24h起動にしてもたかだか 月800円ぐらい
- Let's Encrypt の自動更新もできるしAddonもあって死ぬほど便利
- 大体これでよくなる

けどつらい時もある

Herokuでつらいとき

- レイテンシがキツイ
 - 個人開発でFastlyを使えるわけがないんだよな
- Naked domainのSSLに対応してない
 - ルートドメインでSSLしたいならCloudFront噛ませる
- ・ 大量に動かしだすと無料枠が2秒で枯渇する
- スケーリング性能が終了している



GAE Standard使いがち

- Googleが好きな言語だとLambda的な実行時間課金でアプリケーションを動かせるので安い
- cronとかもついてて意外に高性能
- 日本リージョンが勿論あるのではやくて最高っぽい
- Naked domainのSSL対応もバッチリ
- デフォでオートスケールする
- 大体これでよくなる

これもつらい時がある

GAE Standardでつらいとき

- Googleが好きな言語以外は高いプラン(Flexible)しかない
 - その好きな言語はPython/Go/Javaあたりでつらい
- FlexibleはDockerコンテナを動かすだけなので普通に 月額でGCEの料金がかかって高くてつらい
- FlexibleはElasticBeanstalkみたいなもん

Nodeでの開発者に人権がない

そこで

もう一つの解決方法

FaaSに載せる

LambdaとかCloudFunctions

FaaS

- Node.jsで書ける(LambdaはPython/Javaも)
- Lambdaはイベントの汎用性を、CloudFunctionsは Express LikeなI/Fが魅力な形で提供されている
- レイテンシも初回起動が微妙ぐらい
- 勿論実行時間課金で安い
- 逆に無限にリクエストがきたら金をかけてオートスケー ル無限にしてくれて便利

けどつらさもある

FaaSのつらさ

- 結局一定以上独自記法に落ち着く
 - 既存のNode.jsアプリケーションの作り方で作ることができるわけではない
- 技術的に汎用性がない(ロックイン)
- ローカル実行がとにかくめんどくさい
 - API Gatewayから渡ってくる event の構造が......
- 完成品はよくても開発途中がつらい

つらい

FaaSの特徴を持った GAE/SE for Node.jsがあれば......

そんな時の救世主

aws-serverless-express

ところで

aws-serverless-express を知っている人?

aws-serverless-express 使ったことある人?

aws-server ess-express

- Amazonがノリで作っちゃった"AWS LambdaでExpressが動く" ライブラリ
- 既存のExpressアプリケーションにMiddlewareを追加 するだけで何故かLambdaで動く
- サーバーレスの恩恵を受けながら慣れ親しんだExpress 記法でアプリケーションを記述できるのが魅力

Source Code

```
const serverlessExpress = require('aws-serverless-express/middleware')
app.use(serverlessExpress.eventContext())
app.get('/', (req, res) => {
    res.json(req.apiGateway.event)
})
```



実際に使ってるWebApp

https://connpassport.com

良さ

どこが良いのか

- 普通にNode.jsで開発しているのに何故か無限にスケールする
- 普通にNode.jsで開発しているのに何故か実行時課金
- 普通にNode.jsで開発しているのになぜかメンテナン スフリー
- Naked domainのSSL、リージョンによるレイテンシ、 ロックイン......さっきまでの全部の課題が解消

欲しかったもの全部入り

aws-serverless-expressは 全てを解決してくれる

つらさのおさらい

• そもそもlaaSはメンテがつらい

• Herokuはレイテンシがつらい

• GAE/SEにはない

• FaaSはロックインがつらい

解決できているか

- レイテンシはないか
 - ->ランタイムの初回起動の遅さだけ
- マネージドPaaS Likeに使えるか
 - ->使えて最高
- 独自記法はないか
 - ->全てExpressそのまま

解決できているか

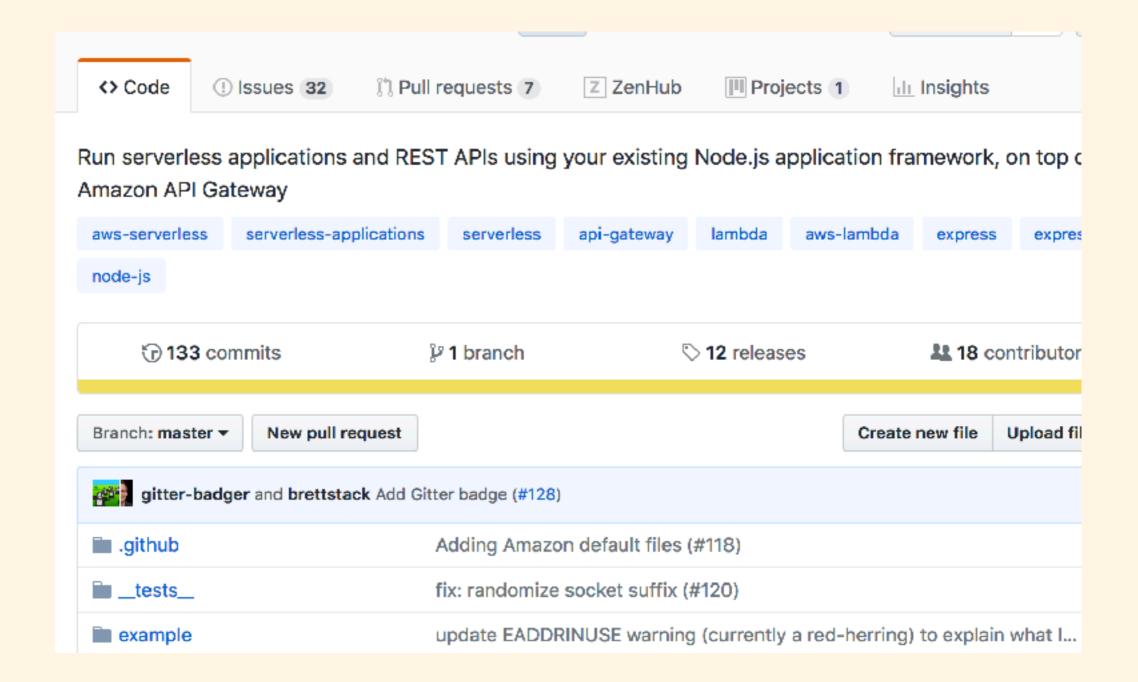
- スケーリング
 - めちゃめちゃするし逆に人がいない時はお金がかからないのでどっちの意味でも最高
- 運用コスト
 - 基本的にFaaSなので皆無、証明書もACM
 - API GW + ACM + Route53になるのでNaked OK

素敵!

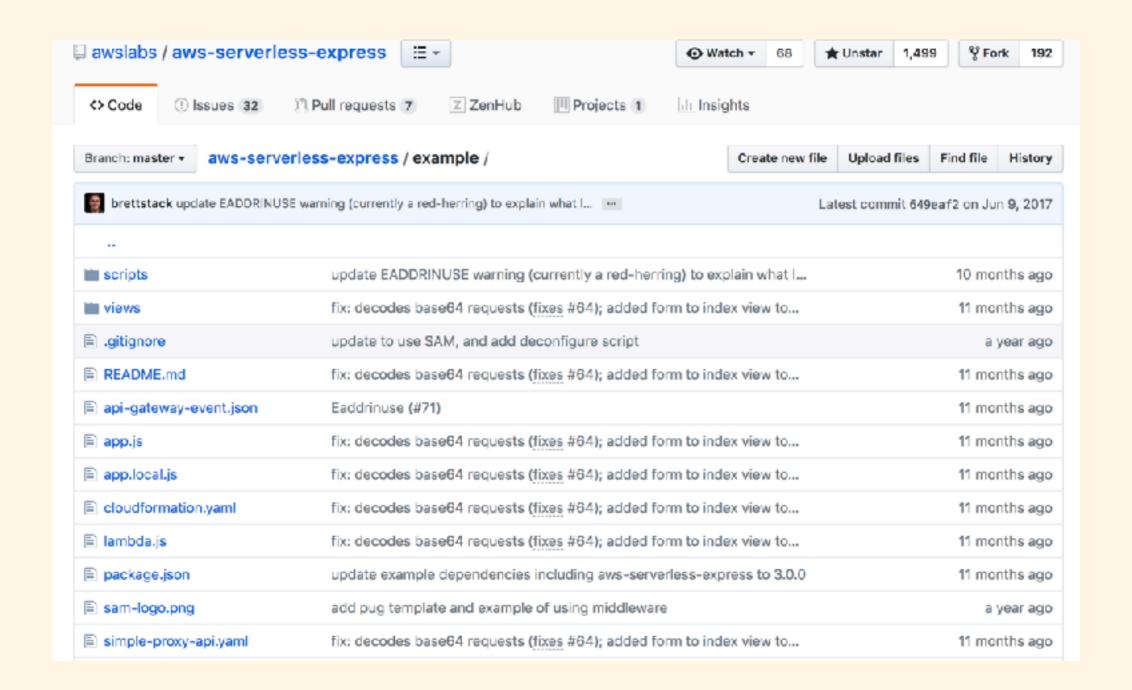
使いたい!

はじめかた

awslabs/aws-serverless-express にアクセス



おもむろにexampleをクリック



Win/Mac/Linux対応のテンプレ

Example

In addition to a basic Lambda function and Express server, the example directory includes a Swagger file, CloudFormation template with Serverless Application Model (SAM), and helper scripts to help you set up and manage your application.

Steps for running the example

This guide assumes you have already set up an AWS account and have the latest version of the AWS CLI installed.

- From your preferred project directory: git clone https://github.com/awslabs/aws-serverless-express.git && cd aws-serverless-express/example.
- 2. Run npm run config -- --account-id="<accountId>" --bucket-name="<bucketName>" [--region="<region>" -function-name="<functionName>"] to configure the example, eg. npm run config -- --account-id="123456789012"
 --bucket-name="my-unique-bucket". This modifies package.json, simple-proxy-api.yaml and
 cloudformation.yaml with your account ID, bucket, region and function name (region defaults to us-east-1 and
 function name defaults to AwsServerlessExpressFunction). If the bucket you specify does not yet exist, the next
 step will create it for you. This step modifies the existing files in-place; if you wish to make changes to these settings,
 you will need to modify package.json, simple-proxy-api.yaml and cloudformation.yaml manually.
- 3. Run npm run setup (Windows users: npm run win-setup) this installs the node dependencies, creates an S3 bucket (if it does not already exist), packages and deploys your serverless Express application to AWS Lambda, and creates an API Gateway proxy API.
- 4. After the setup command completes, open the AWS CloudFormation console

READMEがめっちゃ丁寧

既存プロジェクトの移行



lambda.jsを作成

```
const awsServerlessExpress = require('aws-serverless-express')
const app = require('./app')
const server = awsServerlessExpress.createServer(app)
exports.handler = (event, context) => awsServerlessExpress.proxy(server, event, context)
```

Express側(e.g. app.js)に追記

```
const serverlessExpress = require('aws-serverless-express/middleware')
app use(serverlessExpress eventContext())
```

このままLambdaにデプロイで OK

まとめ

aws-serverless-express

- LambdaでExpressを動かすライブラリ
- Expressミドルウェアとして開発されており、 既存プロジェクトへの導入も可能
- Expressのかき心地でLambdaのPros/Consを 引き継ぐアプリケーションを作ることが可能

よさ

- 現状のPaaS事情では満たせない要件を満たせる
 - 低レイテンシ
 - 実行時間課金かつオートスケーリング
 - Node.js環境が動く
 - Naked domainのSSL対応
 - の全部入り環境

はじめるには

- 公式レポジトリのexampleがボイラープレートなのでそのまま使える
- 既存プロジェクトへの導入もREADMEにあるとおりにmiddlewareを追加するだけ

使おう

おわりに

GAE Standard Node.js 8.x Early Access

We are looking for teams and individuals with experience developing Node.js web applications.

If you are a hobbyist regularly experimenting with new technology or part of a team deploying enterprise applications we want to talk to you.

You will get access to an experimental runtime with scale-to-zero capabilities, <1 minute deploy times, and Google-grade security. In return we ask that you provide thoughtful feedback and are available for infrequent video calls.

Spots are limited so please fill out this form to be considered.

IMPORTANT: You will need to sign our Trusted Tester Agreement for access: https://cloud-tta.appspot.com/

*必須

First Name *

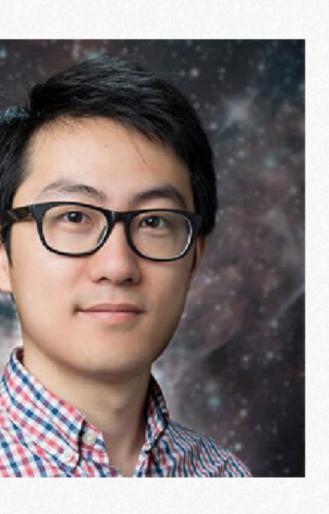
Takuma

GAE/SE for Node 来るやんけ!

宣伝



Speaker



Vue.js クリエーター

Evan You

Evan は開発者、デザイナー、そしてクリエイティブコーダーです。彼は、リアクなコンポーネントでモダンな Web インターフェイスを構築するための JavaScript ムワーク、Vue.js の作者です。

かつて、GitHub で最もスターを集めたフルスタック JavaScript フレームワークで Meteor の開発グループでも働いていました。Google Creative Lab で、さまざまな プロダクト向けの実験的な UI プロトタイプに、2年間取り組んでいた経験もあり

他スピーカーは決定次第、更新予定です。

ご清聴ありがとうございま

